

report
2010

2010年

取り組み報告書

～未来のために、子どもたちのために～
アカチャンホンポと一緒に、ちょっといいこと

アカチャンホンポ

1 . 目次

1 . 目次

2 . アカチャンホンポの取り組み

3 . ホワイトリボン運動

4 . エコ活動

5 . 子育て支援活動

6 . 品質・店舗のこだわり

7 . 2011年に向けて

アカチャンホンポのホームページ内
「未来のために」
(<http://www.akachan.jp/csr/index.html>)では、
取り組みについて掲載しています。

2. アカチャンホンポの取り組み

～未来のために、子どもたちのために～ アカチャンホンポと一緒に、ちょっといいこと

エコ

ボランティア

子育て
支援活動

2010年アカチャンホンポでは、「～未来のために、子どもたちのために～ アカチャンホンポと一緒にちょっといいこと」をテーマとして活動をしてきました。そこには、「未来のために、子どもたちのためにできることをしていきたい。一方通行の取り組みではなく、みなさまと一緒に活動していきたい」そういう思いを込めています。妊娠から出産、子育てをしているママやパパは、子どもたちが過ごす未来をよりよくすること、命を守ることの大切さなどについて、きっと意識が高まる時期にあるでしょう。「意識はあるが何をしたいかわからない」「無理に時間を割いたりはできない」そういった人たちに向けて、ちょっとした意識で参加できる“いいこと”の場を提供していくことが、私たちにできることだと考えています。

また、アカチャンホンポだからこそできる取り組みとして「子育て支援活動」に力を入れてきました。「子育てはタイヘン！」を「子育てはタノシイ！」に変えていけるよう、子育てを応援するさまざまな取り組みを実施していきたいと考え、2010年6月「子育て応援宣言」をし、活動を続けています。



■アカチャンホンポの子育て応援宣言！

「子育てを一層応援していきたい」との思いから、2010年6月「子育て応援宣言」をしました。「子育て応援宣言」の具体的な内容は、妊娠から子育てまでにかかわるすべての方を対象とし、ママの声を活かした商品開発などの「モノ」、子育て応援クーポンの発行などの「サービス」、育児をお手伝いする情報発信の「コト」、そして育児中のママやパパにもできる社会貢献のお手伝い「キモチ」の4つを強化し提供していくことです。



3. ホワイトリボン運動



■世界中のママと赤ちゃんの命を守る、ホワイトリボン運動の応援

アカチャンホンポでは2009年5月から、国際協力NGOジョイセフのホワイトリボン運動を応援し、募金箱の設置などを実施しています。

■「赤ちゃんの肌着をザンビアへ届けよう!」の実施

医者、助産師が深刻に不足しているザンビアでは、健診会場の簡易保健所へは、妊婦が2時間以上歩かなければならない現状があります。自給自足の農作物で生活しているため、現金収入がほとんどないザンビアの女性たち。ザンビアの簡易保健所では、無料で出産介助を受けられますが、出産時に使うゴム手袋や消毒液の他に、生まれてくる赤ちゃん用の衣類など、事前に用意し

なければならないものが不足しています。そこで、「生まれてくる赤ちゃん用の衣類を届けたい!」と考え、お客様から着なくなった赤ちゃんの衣類をご提供いただき、ザンビアへ届ける活動を実施しました。



途上国の妊産婦と女性を守る
<http://www.joicfp.or.jp/>

国際協力NGOジョイセフでは、開発途上のいたるところで栄養失調や劣悪な衛生面、技術と知識のある助産師の不足、保健医療のサービスの欠如、古い因習などにより母親となる女性たちが命を落としている現状に対して、開発途上国の妊産婦の命と健康を守る国際的な活動の“ホワイトリボンアライアンス(WRA)”に参加し、日本からの支援を集め、途上国の妊産婦と女性たちのためにさまざまな支援活動を行っています。

募金実績

単位 (円)

| | | | |
|----|--------|-----|---------|
| 1月 | 19,049 | 7月 | 27,448 |
| 2月 | 23,260 | 8月 | 31,182 |
| 3月 | 33,020 | 9月 | 22,649 |
| 4月 | 21,893 | 10月 | 25,237 |
| 5月 | 24,945 | 11月 | 20,381 |
| 6月 | 29,742 | 合計 | 278,806 |

いただいた募金はすべて、国際協力NGOジョイセフを通して開発途上国の母と子の命を守る活動に役立てられています。皆さまのご協力誠にありがとうございます。



肌着回収実績

■第1回

実施期間：4月15日(木)～5月7日(金)
実施店舗：大阪本町店

■第2回

実施期間：6月21日(月)～7月4日(日)
実施店舗：旭川店、ララガーデン長町店、船橋ららぽーと店、北上尾店、錦糸町店、TOC店、柳津イトーヨーカドー店、リーフウォーク稲沢店、大阪本町店

合計約2,000枚の肌着をご提供いただきました。

■ザンビアに肌着が届きました!



5月9日、国際協力NGOジョイセフ主催「MODE for Charity クロージングパーティ」に、ザンビアの助産師アルバティーナさんが来日。肌着の一部を直接お渡ししました。アルバティーナさんは、「赤ちゃんの肌着はとても大事な贈り物になる」と話しておられました。そして11月、肌着・ウェアがザンビアに到着し、マサイティ郡フィワレ地区にあるクラブハウスで産前産後の健診が行われたときに、妊産婦さんたちに配布されました。今後肌着やウェアは、妊婦さんの安全なお産を守るために、待機ハウス利用を促進する動機づけとしても活用される予定です。



写真左は、ベリマ・ンカンドさん、18歳。この写真の当時は妊娠8カ月。ベリマさんは早くに両親を亡くし、叔母と一緒に暮らしています。小学校しか出ていません。彼女の住むルチエレ村に一番近い診療所は、村から歩いて1時間。陣痛が始まったら叔母さんに付き添ってもらい、歩いて診療所に行き出産するということでした。

4. エコ活動

■エコ割引の実施と親子マイバッグの販売について

2009年6月から、CO₂削減の取り組みのひとつとして、500円以上お買い上げいただいた方を対象に、レジ袋は要りませんとお申し出いただいたら2円値引きする「エコ割引」を実施しています。レジにはレジ袋不要カードをご用意し、お申し出いただきやすくしました。また、ママが使いやすい工夫した、アカチャンホンポオリジナル親子マイバッグの販売も行っています。

■不要となった制服を、必要としている人たちに寄付しました

スタッフの制服廃止に伴い、新品またはほとんど汚れていない、たくさんの制服が不要となりました。そこで、特定非営利活動法人日本救援衣料センターに委託し、これを世界の

難民・避難民に届け活用してもらう取り組みを実施しました。

■スタッフの取り組みも、できることから少しずつ

スタッフの取り組みとして6月の1ヵ月間、エコアクションカード2010の取り組みを実施しました。ひとりひとりが自分にできるエコ活動を考え、取り組むきっかけとなりました。また一部店舗にて、6月21日（月）と7月7日（水）にライトダウンキャンペーンを実施しました。さらに、本社本部と一部店舗の事務所では、エコキャップの回収を実施しています。



ペットボトルのキャップを回収し、NPO法人エコキャップ推進協会に送付。800個でポリオワクチン1人分が購入されます。2010年11月で66,960個83.7人分のワクチンになりました。

親子マイバッグの販売



お客様アンケートでいただいた「親子で持てるマイバッグが欲しい!」という意見を反映。紙おむつが2パック入るくらい大きなサイズで、持ち手には肩にくい込まないようにクッションが入っています。巾着のようにひもで縛れるので、バッグの中身が見えません。子ども用バッグは収納袋としても使えます。



6月19日（土）、20日（日）に、神戸阪急店にて実施の「親子マイバッグ特別企画」のイベントにて、花王のメリーズうさちゃんが行われました。

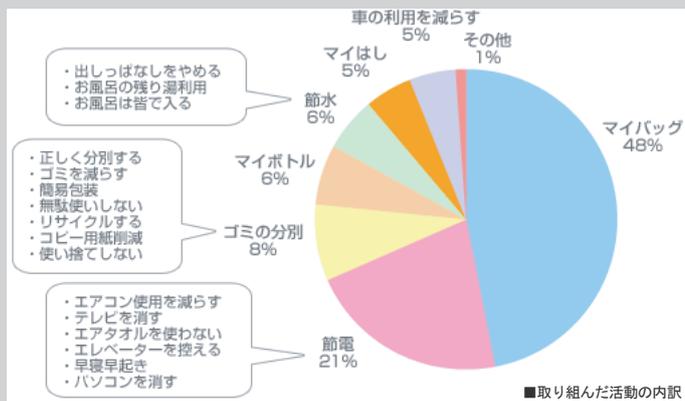
チャレンジ25キャンペーン



<http://www.challenge25.go.jp/>

2月から、国民的運動「チャレンジ25キャンペーン」に参加しています。

■エコアクションカード2010の取り組み



6月、アカチャンホンポでは「エコアクションカード」の取り組みを実施。全スタッフが、自分にできる環境に配慮した活動を考え、ネームカードにつけました。6月の1ヵ月間実行し、期間終了後に実施できたか評価しました。小さな活動でも、できることを自発的に考えて継続することで環境に対する意識が高まり、CO₂削減に取り組むきっかけとなりました。



エコアクションカードには、自分が実施する取り組みを直筆で記入しました。



5. 子育て支援活動①

～店内で実施のイベント～



■さまざまなイベントを通した、子育て支援活動

アカチャンホンポでは、専門のスタッフや店舗スタッフによる様々なミニイベントや、楽しく親子で参加できるワークショップなどの無料イベント開催を通して、お客様の子育てを応援しています。お店では、商品を提供するだけでなく、楽しんで帰っていただけることを目標としています。

■より身近にお客様と繋がる、コトのひろばの設置

東戸塚西武店・アリオ北砂店・アリオ橋本店・西武高槻店・アリオ深谷店には、コトのひろばを設置しています。コトのひろばは、育児を楽しむための様々な情報（コト）を、イベント・セミナー・体験会を通じて提案する場所です。例えば保育士の資格を持った

スタッフによる「うたあそび・エプロンシアター」「ふれあいあそび・リズムあそび」、日本公文教育研究会とコラボレーションした「こそだて ちえぶくろ」、コンビ株式会社によるベビーカー説明会、水谷事務所のメリープロジェクトとコラボレーションした種まきワークショップなど、バラエティに富んだ内容で実施しています。

■親子で楽しめる、ワークショップの開催

8月から毎月1回、6歳くらいまでのお子さまを対象としたワークショップを、全国の約30店舗で無料開催しています。8月はうちわづくり、10月はハロウィンと、季節に沿ったワークショップです。毎回、たくさんのお子さまとパパママたちにご参加いただき、素敵な笑顔と作品がうまれています。毎月のワークショップは、今後も継続して実施していく予定です。

コトのひろば



西武高槻店



アリオ橋本店



アリオ北砂店



東戸塚西武店



アリオ深谷店

普段コトのひろばは、お子さまの遊びのスペース、ゆったりくつろいでいただくスペースとして解放しています。ここでは、週に1回程度の割合で、様々な子育て応援のイベントを開催しています。5組程度の親子が座ったらいっぱいになるくらいのスペースですが、スタッフとお客さまがより身近に繋がり、情報を提供できる場所です。



東戸塚西武店にて開催している、日本公文教育研究会とコラボレーションした「こそだて ちえぶくろ」。歌と読みかせによる子育て、親子のきずなづくりをテーマにしています。



東戸塚西武店、アリオ北砂店にて実施の、株式会社グットウェイのエルゴベビーを使用した、装着体験会。抱っこ紐の正しい装着の方法を学びます。紙芝居を交えて、わかりやすく説明しています。

ワークショップ

2010年8月から、季節に応じたワークショップを開催しています。

- 8月 うちわづくり
- 9月 敬老の日におえ
- 10月 ハロウィンぬりえ・おり紙
- 11月 クリスマスツリーに願い事を
- 12月 クリスマスリースづくり



8月開催のうちわづくりの様子。お子さまたちは、創造性豊かにうちわをつくっていました。



12月のクリスマスツリーに願い事を。みんなが書いた願いは、夙川カトリック教会に納めました。



5. 子育て支援活動② ～パパに向けたイベント～

■すべてのパパ、そして、育児に熱心なイクメンを応援!

アカチャンホンポは、パパも使いやすい商品の開発、パパ向けイベントの実施などを通して、すべてのパパ、そして育児に熱心な「イクメン」を応援します。9月24日(金)に東京ビッグサイトにて開催された「イクメンフォーラム」では、執行役員の味志がパネラーを務めました。

■仕事後に寄っていける、プレバパナイトツアーなどのイベント

6月20日(日)港北東急店にてプレバパスクールを開催。NPO法人ファザーリング・ジャパン(<http://www.fathering.jp/>) (以下FJ)の協力で、楽しく夫婦で参加できるイベントとなりました。また、普段なかなか育児に関する情報を得る時間がないパパが、仕

事後に寄っていけるプレバパナイトツアーを全国で開催しています。その他、社内の「パパチーム」が企画したパパの離乳食講座や、店舗クイズラリーなども開催しました。さらに、FJのさんきゅーパパプロジェクト(<http://www.fathering.jp/sankyu/>)への協力なども実施。パパも使いやすいおしりふき「水99%おしりふき厚手タイプ 60枚×20個入」をプレゼント提供しています。

■パパが使いやすい商品の開発

パパが使いやすいよう工夫した商品「パパもOK!」シリーズを販売しています。このシリーズは、おむつ替え、ヘアカットやつめきりなどできることから始めて欲しい、という思いを込めて開発されています。また12月には、コンビ株式会社のベビーカー「チェルシーColorplus」の販売を開始。「パパが使いやすい」「パパも押しなくなる」がコンセプトのアカチャンホンポオリジナルのベビーカーです。

パパ向けのイベント

6月20日(日)に港北東急店にて、これからパパになるプレバパとプレママを対象とした「プレバパスクール」を開催。たくさんのプレバパパが集まりました。横浜副市長の山田氏や、FJのつかごし氏が先輩パパとしてレクチャーしました。



パパ力向上テストや、グループに分かれてのワークショップも実施しました。



少数数のプレバパを対象に、マタニティの体の変化や育児雑貨についてのレクチャーを行うプレバパナイトツアー。



社内の「パパチーム」が企画した、パパの離乳食教室の様子。和光堂株式会社に協力いただき、離乳食の試食やミルク作り体験などを行いました。

■パパの育児を応援する、商品開発

写真左は「チェルシーColorplus」。自身もイクメンである担当バイヤーがコンビ株式会社と共同企画しました。ブラックをベースにしたシンプルなデザイン、高めの持ち手など、「パパが使いやすい」「押しなくなる」をコンセプトにしています。写真右は、「パパもOK!」シリーズのサンパツバサミとスキバサミ。指穴が大きく、大きな手のパパでも使いやすい設計です。



※「パパもOK!」シリーズは、リニューアルを予定しています。

5. 子育て支援活動③ ～さまざまな子育て応援の形～



■ マタニティスクールが通算2500回を突破しました!

助産師の先生のお話や沐浴体験などを行うマタニティスクールは、1985年の初回開催以降、開催回数2500回を突破しました。

■ 中学校への取り組み

11月16日(火)尼崎市立成良中学校にて「生命倫理教育」の活動協力を行いました。アカチャンホンポからは、赤ちゃん人形、妊婦体験ジャケットの貸し出しを行いました。

■ 10月10日を、赤ちゃんの日と制定しました

アカチャンホンポでは、赤ちゃんがママのお腹にいる期間「とつきとおか」になぞらえ、10月10日を『赤ちゃんの日』と制定しました。『赤ちゃんの日』は、赤ちゃんの健やかな成長を祈り、「生まれてきてくれてありがとう」を伝える日です。2010年の『赤ちゃんの日』は、プレゼントや値引き券、赤ちゃんへのココロの詩募集や写真募集などのイベントを通して、赤ちゃんのいる家庭を応援しました。



赤ちゃんの日は、日本記念日協会に認定されています。
(<http://www.kinenbi.gr.jp/>)

チャイルドシートのチェックアップイベント

全国13店舗にて、日本自動車連盟(JAF)共催の「チャイルドシートチェックアップイベント」を実施しました。JAFの専門スタッフとチャイルドシートのメーカースタッフが、実際にご使用中のチャイルドシートのつけ方・使い方をチェックし、説明しながら指導しました。12月12日(日)に津久野イトヨーカードー店でチェックした46台では、何と取り付けミスと判断されたものが89%にのぼりました。これからも、チャイルドシートチェックアップイベントを通じて、正しい

着用に対する啓蒙活動を行っていきます。



イベント会場には「こども免許証発行コーナー」や、JAFのレッカー車、バトカーや白バイとの「記念撮影コーナー」など、お子様楽しめるコーナーも充実し、たくさんのご家族でにぎわいました。

ママコミ

2009年11月、アカチャンホンポのマスタッフ約150人による「ママコミ」を発足しました。アンケートや座談会を通してダイレクトなママの声を集約する組織です。また、アカチャンホンポのケータイサイトでもお客様にアンケートを実施し、よりよい商品開発、サービスの提供に努めています。



ママコミ座談会の様子。ママ目線の本音の意見が飛び交います。

■ アカチャンホンポの地域活動

アカチャンホンポでは、地域の活動のひとつとして、全国一斉清掃活動を実施しています。2010年第1回目は6月27日、27店舗134人で実施し、合計でゴミ袋約114袋分を回収しました。第2回は10月31日、26店舗113人で実施し、合計でゴミ袋約75袋分を回収しました。その他、一部店舗では地域ぐるみで子どもを守る取り組み「こども110番」に参加しています。



6. 品質・店舗のこだわり



■検査データの「見える化」による、徹底した品質管理

アカチャンホンポには、数万点の商品が並んでいます。企画、生産、販売までの各シーンでアカチャンホンポ基準にもとづいた確認作業を行うことにより、お店に並ぶ全ての商品についての品質を保証しています。繊維製品については、公的検査機関で行なった生地や製品に対する品質検査のデータを「見える化」し、企画・工場・品質管理部門がリアルタイムで情報共有できる、業界内でも画期的な『アカチャンホンポQ C w e b』というインターネットシステムを開発し管理を行っています。特に商品の「安全性」を厳しく管理することは、赤ちゃん用品を提供する企業にとって社会的使命であると考えています。

■安全な売り場づくりの工夫

ママ、パパ、おじいちゃん、おばあちゃん、お子さまなど、すべてのお客さまにとって、安全でお買い物しやすい環境となるように配慮しています。商品を並べる棚の角を丸くしたり、通路を広くしたり、またハサミやカッターナイフなどの使用は厳しく管理しています。

■よりよいお店、商品を目指して

お店に掲示している表示物についても、誤解を与えないか、見にくくないかということを定期的に確認しています。そして、アカチャンホンポに寄せられたお客様の声は「ステップアップメッセージ」として全店で共有し、商品に対するご要望は、商品改良の貴重な情報源と捉え、生産現場まで伝えて改善を図っています。常にお客様の求める品質に目線を合わせて、お客様の声を形にしていけます。

品質検査

アカチャンホンポの衣料品は、財団法人日本紡績検査協会に試験を委託しており、アカチャンホンポの品質基準に則った厳しい試験が行われています。下記の他にもいろいろな試験があり、そのたくさんの基準をクリアした商品だけが、アカチャンホンポの店頭に並びます。



■摩擦堅牢度試験。
着用中の摩擦で色が移る度合いを
試験しています



■ホルムアルデヒドの含有試験。
アカチャンホンポでは、法定基準
値より厳しいアカチャンホンポ独
自の基準値を設定しています。



■強度試験。
織物の強度を測定しています。

売場のひと工夫



飛び出したフックが危なくないよう、フックカバーを付けています。



商品を並べる棚の角を丸くしています。

■スタッフ研修

出産や子育てをサポートするスタッフの育成を目的とし、研修を実施しています。あいさつの基本となる発声練習や、お客さまのニーズに応える専門知識を学ぶ環境づくりをしています。また、助産師を招いて妊婦のからだの変化について学ぶ機会をつくるなど、スキルアップに努めています。



7. 2011年に向けて

2010年

アカチャンホンポと一緒に、ちょっといいこと

エコ、ボランティア、子育て支援活動の3本柱をもとに、活動を続けてきた2010年。継続して実施しているエコ割引や清掃活動などに加えて、「エコアクションカード2010」やホワイトリボン運動の「赤ちゃんの肌着をザンビアへ届けよう！」など、新しい取り組みもスタートしました。「赤ちゃんの肌着をザンビアへ届けよう！」では、自分の子どもの健やかな成長を願うママから、“世界の赤ちゃんのために少しでもこの想いを届けたい”というお気持ちをいただき、実現させることができました。また、「子育て応援宣言」の実施に伴い、子育て応援イベントも多数開催し、たくさんのお客様に参加していただきました。

2011年

～未来のために、子どもたちのために～ つなげていく、つないでいく

子育て
支援活動

エコ

ボランティア

2011年、初めてパパママになる方、おじいちゃんおばあちゃんになる方、また家族に赤ちゃんを迎えるさまざまな方へ向けて、「あたたかな気持ちになること」をいくつも提案していきたいと考えます。それは、赤ちゃんの持つ力、赤ちゃんがいることによって生まれるコミュニケーションを大切にすることです。

アカチャンホンポは2011年も、赤ちゃんを想うすべての方の「あたたかな気持ち」を、世界に未来に、つなげ、つないでいきます。皆さまのご参加を、心よりお待ち申し上げます。